

平成12年 都道府県別生命表のポイント

1 平均寿命が最も高い県は、男では長野県、女では沖縄県

平成12年の平均寿命が最も高い県は、男が長野県(78.90年)で、次いで福井県(78.55年)、奈良県(78.36年)、女が沖縄県(86.01年)で次いで福井県(85.39年)、長野県(85.31年)の順となっている。また最も低い県は男女とも青森県(男75.67年、女83.69年)となっている。

男女の平均寿命の差は、沖縄県が8.37年で最も大きく、次いで佐賀県(8.13年)、青森県(8.02年)となっており、この3県が8年を超えている。これに対し、最も小さいのは愛知県(6.21年)で、次いで岐阜県(6.24年)、埼玉県(6.29年)となっている。

都道府県別平均寿命

(単位：年)

順位	男		女		男女差	
	都道府県	平均寿命	都道府県	平均寿命	都道府県	男女差
	全 国	77.71	全 国	84.62	全 国	6.91
1	長 野 県	78.90	沖 縄 県	86.01	沖 縄 県	8.37
2	福 井 県	78.55	福 井 県	85.39	佐 賀 県	8.13
3	奈 良 県	78.36	長 野 県	85.31	青 森 県	8.02
4	熊 本 県	78.29	熊 本 県	85.30	高 知 県	7.91
5	神 奈 川 県	78.24	島 根 県	85.30	島 根 県	7.76
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
45	高 知 県	76.85	栃 木 県	84.04	埼 玉 県	6.29
46	秋 田 県	76.81	大 阪 府	84.01	岐 阜 県	6.24
47	青 森 県	75.67	青 森 県	83.69	愛 知 県	6.21

2 平均寿命は各都道府県とも順調な伸びを示す

平成7年と12年を比較すると、すべての都道府県で平均寿命は伸びている。

この5年間で平均寿命が大きく伸びた都道府県は、阪神・淡路大震災の影響を受けた兵庫県を除けば、男では鳥取県（1.31年）、奈良県（1.22年）、千葉県（1.16年）の順で、女では奈良県（1.84年）、福井県（1.76年）、滋賀県（1.72年）の順となっている。

また平成7年と順位が大きく（10位以上）変動した都道府県は、

・兵庫県（男）	46位→27位	・奈良県（女）	38位→21位
・千葉県（男）	23位→11位	・滋賀県（女）	30位→15位
・鳥取県（男）	42位→31位	・福井県（女）	12位→2位
・沖縄県（男）	4位→26位	・山口県（女）	15位→28位
		・大分県（女）	13位→25位

となっている。

3 死因別死亡確率は男女とも多くの県で悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順

死因別死亡確率（将来どの死因で死亡するかを示す割合）を都道府県別に見ると、男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順で高くなっているところが多いが、女では千葉県、岐阜県、静岡県、愛媛県、大分県で心疾患が、岩手県、福島県、栃木県、新潟県、長野県で脳血管疾患が最も高くなっている。

4 3大死因克服時の平均寿命の伸びは北海道、東北、関東地方が高い傾向

3大死因を同時に克服されたと仮定した場合の平均寿命の伸びは、男が山形県（9.66年）が最も大きく、次いで埼玉県（9.63年）、秋田県（9.59年）の順となっている。女では北海道（9.35年）が最も大きく、次いで宮城県（8.85年）、高知県（8.83年）の順となっている。